

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL & FAX 558-0718

住民の利益をまもり、
「住民こそ主人公」の
あきる野市政実現をめざして!

2006.9.24 No.447 (毎月2回発行)

教育・学校に

高齢者・福祉に

子育てにこそ

9月議会—日本共産党議員団—一般質問 傍聴記

9月第3回定例市議会は5日から開催され、5、6、7日に一般質問がありました。日本共産党の影山保、山根とみえ、戸沢弘征の三議員は、市民の切実な声を取り上げ、鋭く要求実現を迫りました。



戸沢議員



山根議員



影山議員

よく実情を調べ、
鋭く市当局に迫る

教育予算の復活 せまる影山議員

影山議員は七月に党市議団で市内の小中学校すべてを訪問して聞いた、教育予算を減らした影響が様々なところに現れている実態を紹介して質問。例えばトイレが男女共用になっている小学校や、災害時の避難所となっている体育館の床下土台が浮いてしまっている学校があるなどの指摘に、聞いている方もショックを受けました。未来を担う子どもたちの教育にかけるお金を惜しむべきではないとの追及に、最初は「教育予算だけを例外にできない」と言っていた市長も、早急に現場を見に行くと言えざるを得ないなど、とても迫力ある質問でした。

(50代の女性)

議場に凜と誓った 山根節

議場に凜と誓った山根節は、まず折立下の旧田村石材跡地の住宅開発に伴う道路整備を求めて質問。車公害、渋滞・災害時等の解消について、市側は業者に要望申し入れを回答した。次に市民の介護保険料と国保税の負担軽減、並びに介護保険認定者も障害者控除の対象とする認知を要求した。山



こどもたちとのくらしは毎日が実験です。特に上の子に関しては、後悔したり迷うことが多いです。落ち込むこともあります。最近お母さん仲間と「自信がなくてあたりまえ、自信がないことに自信を持つとうね」と話あいました。失敗したら謝ってやり直せばいい。迷ってわからなくなったら、この子が大切という原点に戻ればいよいよね、と。

隣の芝生は青く見えますが、やっぱり完璧なお母さんなんていません。みんな人間母です。だめな時も、いい時もある、とてもすてきな、人間母です。

たばた あずみ
連絡先は☎550-6674

野良望

根議員の足を使つての他市の調査は、困難家庭を事例に挙げながら追及し、市側も市民への広報徹底と研究を表明した。「日本の繁栄を築いたのは今の高齢者だ」との質問に、市長もその通り、関係部局で検討し努力したい」と表明し、この時は市当局議員、傍聴席が一体となった感があった。

(草花の60代男性)

子育てに現金給付を 戸沢質問

戸沢議員は、あきる野市では、次世代育成計画がつ

くられているが、現在(平成17年)就学援助を受けている児童は605人、生活保護を受けている家庭は203世帯。保育料は三多摩で2番目に高いなど、子育て家庭の経済状態は大変困難な状況にあることを指摘。計画をつくらただけではだめ、具体的にどのような支援を考えているのか、市の姿勢を厳しく追及。保育料引き下げと現金給付をするよう迫りました。子育て中のお父さん、お母さんのために是非実現してほしいと思いました。

(小川の60代女性)

ちぎり絵手紙/Mさん・雨間在住



江間章子(1913~2005年)の代表作夏の思い出はよく知っている。行きたいのに一度も行っていない尾瀬を思いながらよく口ずさむ。もう一つの代表作が、自分が小学生のころよく歌った「花の街」だとは知らなかった。「輪になって 輪になって」江間さんは次のように書いていたのも最近知った。「花の街」は私の幻想の街です。戦争が終わって平和が訪れた地上は瓦礫の山と一面の焦土に覆われていました。その中に立つた私は夢を描いたのです。ハイビスカスなどの花が空中に浮かんでいる、平和という名から生まれた美しい花の街を。詩の中にある「泣いていたよ 街の角で」の部分には戦争によって様々な苦しみや悲しみを味わった人々の姿を映したものです。♪春よ春よと♪平和を思う気持ちがいんと伝わってくる。平和な花の街をつくり、尾瀬にも行ってみたい。

湘

ぶどう狩り2題



山梨県・勝沼町の葡萄園で
後援会員と山根議員(右端)



東地区後援会で

八月三十日、東地区後援会では勝沼町(山梨県)へぶどう狩りバス旅行に行ってきました。後援会発足以来、恒例となつて今回で五回目です。中型バスに三十七名の参加でしたが、年々参加者も増え大型バスに替えないと足りない迄になつてきました。昼食後、昨年完成したばかりの県立博物館を見学。往復のバスの中では、ハーモニカ演奏の間に9条の会への入会や赤旗まつりへの参加の訴えもあつて、なごやかな中にも、この勢いは参院選躍進を感じさせる一日でした。

南地区後援会で

九月二五日、南部後援会として初めてのぶどう狩りに行ってきました。影山保市議の参加も得て総勢二五人の参加です。ぶどう狩りの場所は勝沼ぶどう郷の三森農園で、東地区後援会で既に行つていた実績のある農園です。着いたら早速ぶどう園に行きお好みの房を切り取り、農園で用意してくれた席でおいしいぶどうをツマミにくつろぎの時間を過しました。その後ぶどうの丘にある天空の湯に行きのんびりと温泉に浸かり、ひと時の癒しを楽しんできました。

学校のキリツメ予算の影響が...

現場の教師が語る 学び舎の実際 (その二) 八月二五日に収録

ささやかな入学の記念品までカット

A 先生 II 私の学校では生徒にとって一生に一度しかない入学の日の記念品まで廃止してしまいました。それもノートとか鉛筆というささやかなものです。

B 先生 II 長い間続いていた音楽や演劇鑑賞教室もやらなくなつてしまつた。また毎年出していた学校文集も予算が無いと言つて出していない。教育に必要という事で取つていた一般新聞も取らなくなつてしまいました。

父母負担が増えている傾向が

C 先生 II 学校で児童たちが中心でやる子どもまつりや、冬まつり、児童がお店を出す楽しい催しが出来なくなつてきている。また私た

ちは父母負担を軽減するように努力していますが、副教材費負担がこの数年高くなつています。学力補充のための学習手帳を買つてもらつたことが増えている。

D 先生 II 他市でやられているように教材費の市補助や就学援助の拡充が必要となつている。この二、三年『教材費の父母負担の納入がなければ、副教材を注文できません』『スキー教室費用を納めてもらわないと、参加がむずかしくなりませう』など義務教育ではあつてはならない説明を、保護者にしなければならぬ場面が増えて、教師として胸が痛みます。

体育備品なども購入計画が立たない

A 先生 II 老朽化して危険になつたバレーボールネット支柱を購入すると残りの予算が不足し、

旅費出張費も窮屈になり今後影響が

B 先生 II 都庁まで公用で六回いけば出張費がゼロになると管理職の教員がぼやいていた。移動教室・修学旅行の事前調査、部活公式戦も窮屈な思いをしている。

◎各先生から学校現場で起きている事実を聞き、市民と生徒にとって大変なことが起きていくことを知りました。みんな考え対策を講じなければと痛感しました。(編集部)

日本共産党後援会・便り

11月3日(祝)4日(祝)5日(祝)

第39回 赤旗まつり

東京・江東区「夢の島公園」

＜前売り参加券＞ ●一般券 2,300円 ●割引券 1,500円

あきる野から連日直行バス運行 往復一人2,000円



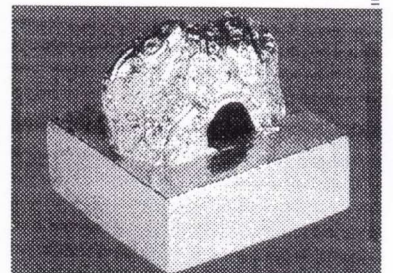
参議院衆議院選挙区
予定候補
田村智子さん

歴史探訪

第27回

番外編——北九州の旅(4)

☆金印「漢委奴国王」(カンノワノナノクニノウウ)



「魏志倭人伝」には方位・距離を示しながら弥生期の倭の小国名が幾つも登場します。その一つに奴国があり、後漢書・倭伝には「倭の奴国が貢物を持って朝貢した。光武帝は奴国に印綬を与えた」と記されています。二千年を経た今日、現存する不思議とその大きさや色彩はこの思いが四十年続き、実物を見る事が今回の旅行の目的でした。

福岡市博物館に展示されている金印「漢委奴国王」は美しいの一言でした。縦横共に二・三センチ、厚さ一・三センチ、蛇鈕(つまみの部分)を含めて総高二・三センチ、重量一〇八グラム、金の質度は通産省測量部での結果が純金に近い純度の高いものと云われています。

金印は一七八四年(天明四年)に福岡県博多湾に面する志賀島で発見されています。農夫・甚兵衛が山腹斜面の水捌けを良くする為に石組みを取り除く作業中に発見、甚兵衛は村の庄屋に届け、更に郡吏から藩の執政を経て黒田藩に献上、黒田藩の学者が全国へ報らせてゆきます。(続く)

草花 木崎秀治

俳句

孫つれて輪に入る盆の踊りかな (やすこ)

梅雨明けて歌の合宿夢の島 (静子)

鮎の川泳ぎし敗戦の日なりけり (忠治)

目高の子一丁前に泳ぎをり (勝代)

湯上がりのやんちゃ追ひかけ天瓜粉 (富子)

人里に蝦夷鹿死して冷まじや (香治)

(照代)